



## 令和3年度「魚つかみ楽しみ隊」実施報告書

### I 事業の概要

1 期日 令和3年10月3日(日) ※日帰り

2 日程 午前の部 ( )内は午後の部

10月3日(日)	
9:30(13:00)	受付開始
10:00(13:30)	出会いのつどい【つどいの広場】
10:15(13:45)	魚つかみ(河川プール)
11:00(14:30)	魚を焼いて食べる【つどいの広場】
11:45(15:15)	片づけ・感想記入
12:00(15:30)	解散



### 3 ねらい

・魚つかみを行うことで大自然を満喫するとともに家族の親睦を深める。

4 対象 家族および一般 ※午前・午後各10組

5 参加者数 午前9家族 38名 午後9家族 32名 計18家族 70名

### II 実施状況

7月に予定していた「魚つかみ楽しみ隊」を10月に延期して開催することができた。

この日は天候も良く、外での出会いのつどいから始まった。

各家庭で十分に間隔を取り、魚を獲る場所と焼き場(U字溝)を確認した後、早速河川プールに移動。まずは各家庭それぞれ素手で魚つかみに挑戦していただいた。

参加された方は歓声を挙げながら楽しんでいたが、水量の多さとプールの広さで簡単に魚を捕まえることができない。

そこでタモを渡して獲ってもらうことにした。

どんどん魚を獲ろうとする人、家族で相談して魚を隅に追いやって獲る人、様々であった。しばらくすると魚を獲る人が出始めた。獲った人は家族で喜び合い嬉しそうにされていた。



午後の部に参加された方は、午前と比べて魚が少し減ってきた。そこで、皆さんで協力して肩を寄せ合い捕獲されていた。参加者同士で協力したり、魚をつかまえると一緒になって喜んだりする姿が見られたりした。

次に獲った魚をバケツに入れてつどいの広場に戻り、魚を調理していただいた。

魚に串を刺すときは怪我をしないように机の上に魚を置いて、串を刺していただいた。それを各家庭のU字溝で焼いていただいた。

多くの方から「おいしい」という感想をいただいた。

この事業は、応募総数(午前94組320名、午後55組209名)529名と予想を上回る申し込みをいただいた。

コロナ禍でなかなか自然体験活動を行う機会が減ってきているが、多くの方々からのニーズがあることがわかった。

ぜひ来年度も継続して行いたい。



### Ⅲ 総括

#### 1 参加者の感想(抜粋)

- ・ 魚をとるとき手づかみだと難しかったけどタモでとるとすぐに獲れて楽しかった。(子ども)
- ・ 自然と触れ合えるととても楽しい体験でした。始めの手づかみでとれなかったのも、子ども達にとっては良い経験になったと思います。川の冷たさを感じながら一生懸命魚を追いかけることは、なかなか体験できないことなのでそれも良かった。自分達で獲った魚を食べるのも格別でした。
- ・ 自分達で獲った魚を食べ、親や子どもも大満足でした。命の大切さにも気づくことができました。



#### 2 成果

- ・ 川で実際に生きた魚をつかむという体験をしていただくことができ、参加者に大自然を満喫していただくことができた。
- ・ 獲った魚をその場で食することで命の大切さ、ありがたさについて考えるきっかけとなった。
- ・ 「魚は嫌い」、「気持ち悪い」と言っていた子が最後は「おいしかった」と感想に書いていた。魚嫌いの子が少しでも魚を好きになってくれて良かった。



#### 3 課題

- ・ 出会いのつどいで簡単でも良いので魚の種類についての説明があれば参加者にとって良かった。
- ・ 暑い時期は熱中症の恐れもあるので開催時期を吟味する必要がある。

